

## 気候情報

### 2015年2月の日本の天候

- 北日本では、気温が高かった
- 日本海側の降雪量は少なく、北日本日本海側では統計開始以降2月として最も少なかった
- 北日本では、北海道を中心に暴風雪となる日があった

#### 2月の天気概況

日本付近は冬型の気圧配置が長続きしなかった。北日本では寒気の南下が弱く気温の高い日が続き、月平均気温は高かった。北日本日本海側では、平年より曇りや雪の日が少なく、降雪量は平年比49%と1961年の統計開始以降2月として最も少なかった。東・西日本では、上旬から中旬にかけては、気温が平年を下回る日が多かった。日本海に気圧の谷が位置しやすかったため、東・西日本日本海側では平年に比べて曇りや雨または雪の日が多かったが、降水量は平年を下回り、西日本日本海側ではかなり少なかった。東・西日本太平洋側でも、低気圧の影響が小さかったため、降水量は平年を下回り、西日本太平洋側では少なかった。沖縄・奄美では、上旬から中旬にかけて、平年より曇りの日が多く、気温の低い日が続いたが、下旬は南から暖気が流れ込んで全国的に気温が上がったため、東・西日本と沖縄・奄美の月平均気温は平年並となった。

上旬：1日から4日にかけては、発達した低気圧が北海道の東海上に停滞し、北日本を中心に冬型の気圧配置となった。特に1日から2日にかけては、北日本では北海道を中心に暴風雪となり、羅臼では局地的に記録的な大雪となった。その後、5日と8日には低気圧が本州付近を通過して、太平洋側でも東日本を中心に雨や雪となった。9日から10日にかけては冬型の気圧配置が強まり、日本海側では雪となった。沖縄・奄美では5日以降、シベリア高気圧が東シナ海方面に張り出し、強い寒気が流れ込んだ。旬平均気温は、東・西日本と沖縄・奄美は低かった。旬降水量は、北・西日本日本海側と西日本太平洋側は少なく、北日本太平洋側では多かった。旬間日照時間は、北日本日本海側は多く、北日本太平洋側と西日本日本海側および沖縄・奄美では少なかった。

中旬：13日から15日にかけて、低気圧が北日本の東海上で発達し、北・東日本を中心に冬型の気圧配置が強まったため、14日から15日にかけて、北日本では北海道を中心に暴風雪となったほか、北陸以北の本州の山沿いでは所々で大雪となった。16日から18日にかけては、低気圧が本州南岸をゆっくりと通過し、太平洋側でも雨や雪の降った日があった。19日から20日にかけては冬型の気圧配置となり、日本海側では北陸を中心に雪や雨となった。沖縄・奄美では、東シナ海に張り出したシベリア高気圧や移動性高気圧に覆われて晴れの日が多かった。旬平均気温は、北日本はかなり高く、沖縄・奄美では低かった。旬降水量は、北日本日本海側、東日本太平洋側、西日本および沖縄・奄美は

少なかった。旬間日照時間は、北日本太平洋側はかなり少なく、東・西日本太平洋側は多く、沖縄・奄美ではかなり多かった。

下旬：22日から23日にかけては、南から暖気が流れ込んだため全国的に気温がかなり高くなり、九州北部、中国、四国、北陸では春一番となった。26日から27日にかけては、低気圧が日本付近を発達しながら通過したため、全国的に雨、北海道では雪となった。その後、28日にかけては冬型の気圧配置となり、北日本では暴風雪になった。旬平均気温は、北日本と沖縄・奄美でかなり高く、東日本で高かった。旬降水量は、北・西日本太平洋側で多く、東日本日本海側で少なかった。旬間日照時間は、東・西日本太平洋側と西日本日本海側で少なかった。

#### 2月の気候統計

月平均気温：北日本は高かった。東・西日本、沖縄・奄美では平年並だった。

月降水量：西日本日本海側はかなり少なく、北日本日本海側と西日本太平洋側および沖縄・奄美は少なかった。東日本は平年並だった。北日本太平洋側では多かった。

月間日照時間：北日本日本海側と沖縄・奄美は多く、東・西日本太平洋側は平年並、北日本太平洋側と東・西日本日本海側では少なかった。

(気象庁観測部情報管理室)

#### 2月の記録(1位更新のみ)

- ・月平均気温高い方から(°C)  
釧路 -2.1 根室 -1.8
- ・月降水量少ない方から(mm)  
名瀬 46.5 南大東 7.0

#### 2015年2月の平年差(比)図

